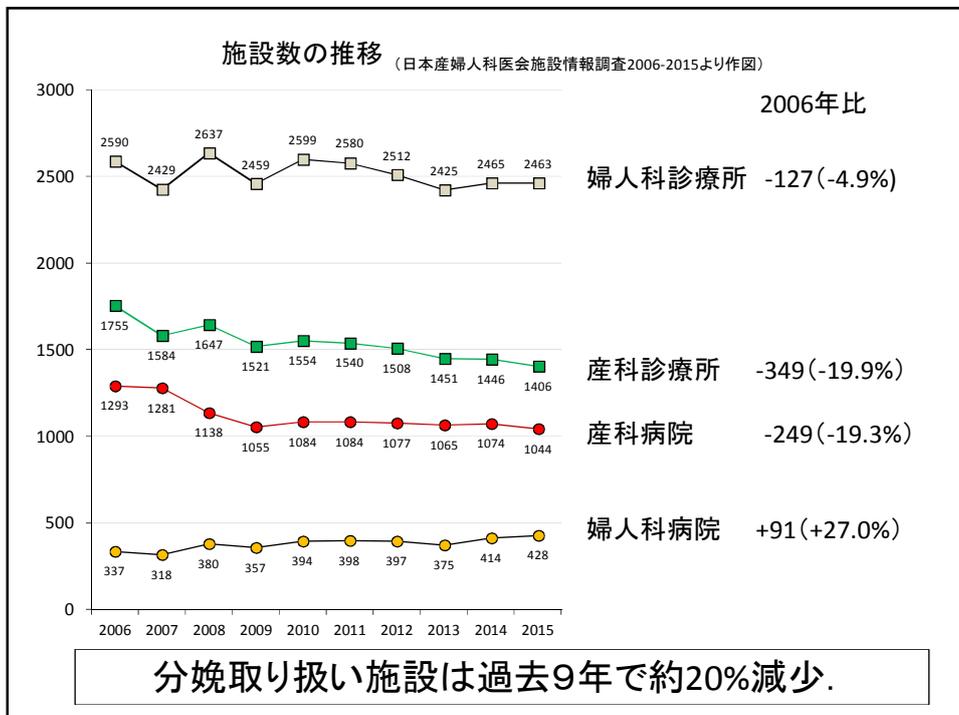
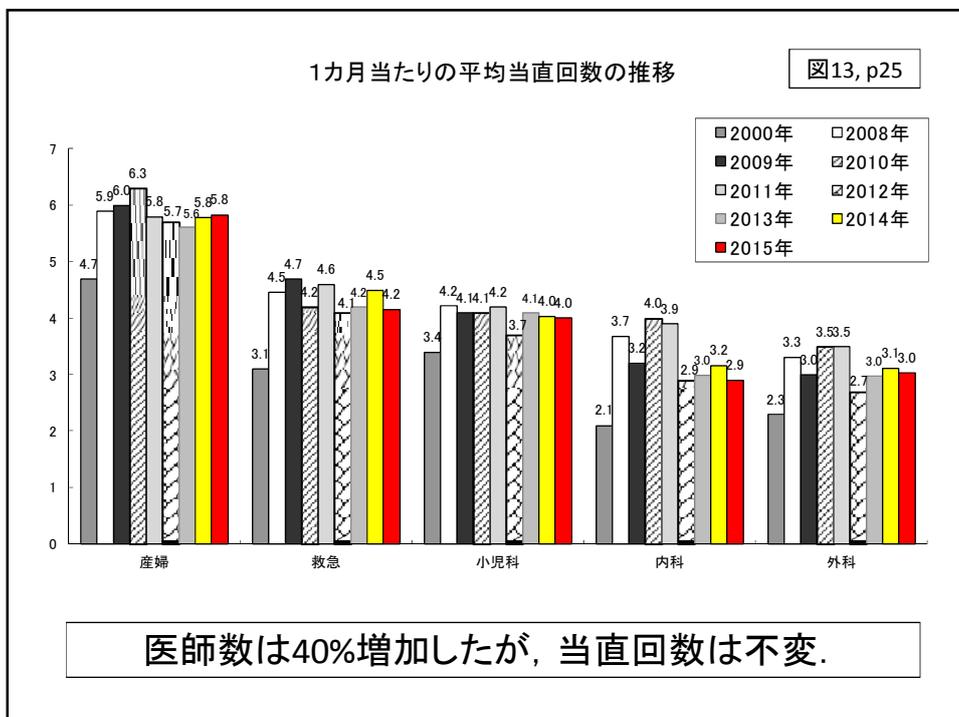
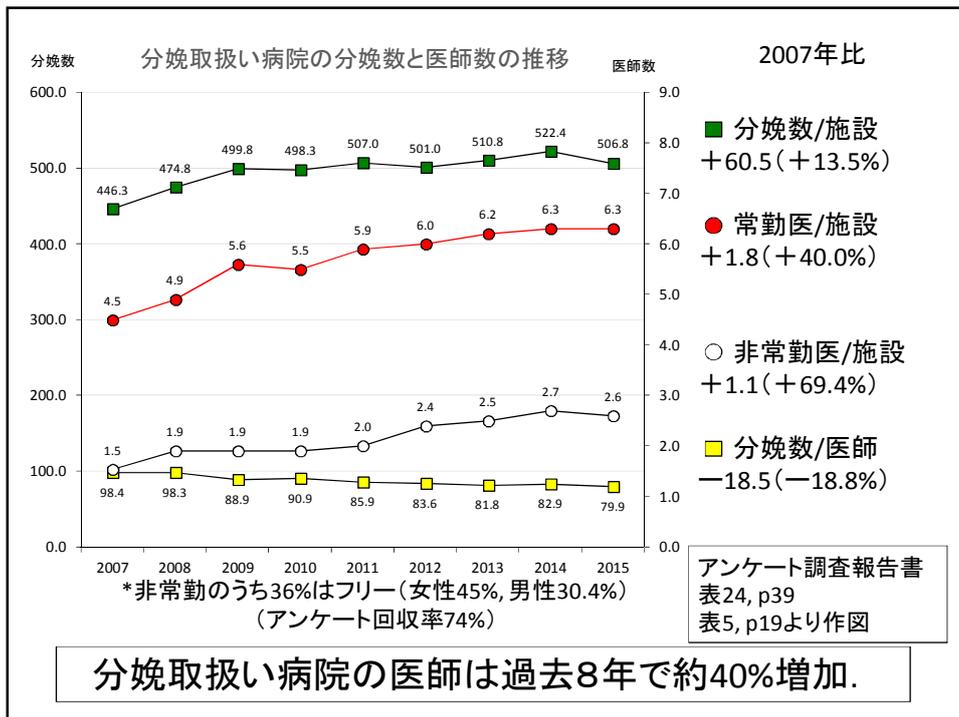


「産科医の就労状態、その地域格差」
 ～産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就
 労環境に関するアンケート調査報告～

日本産婦人科医会
 勤務医部会担当常務理事
 日本医科大学
 中井章人





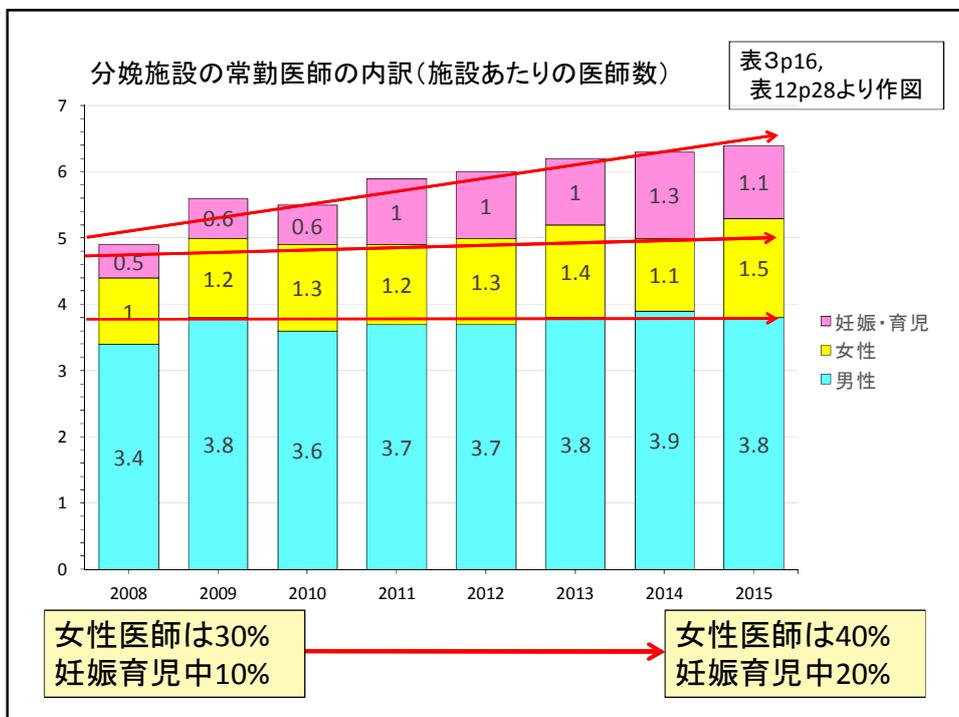
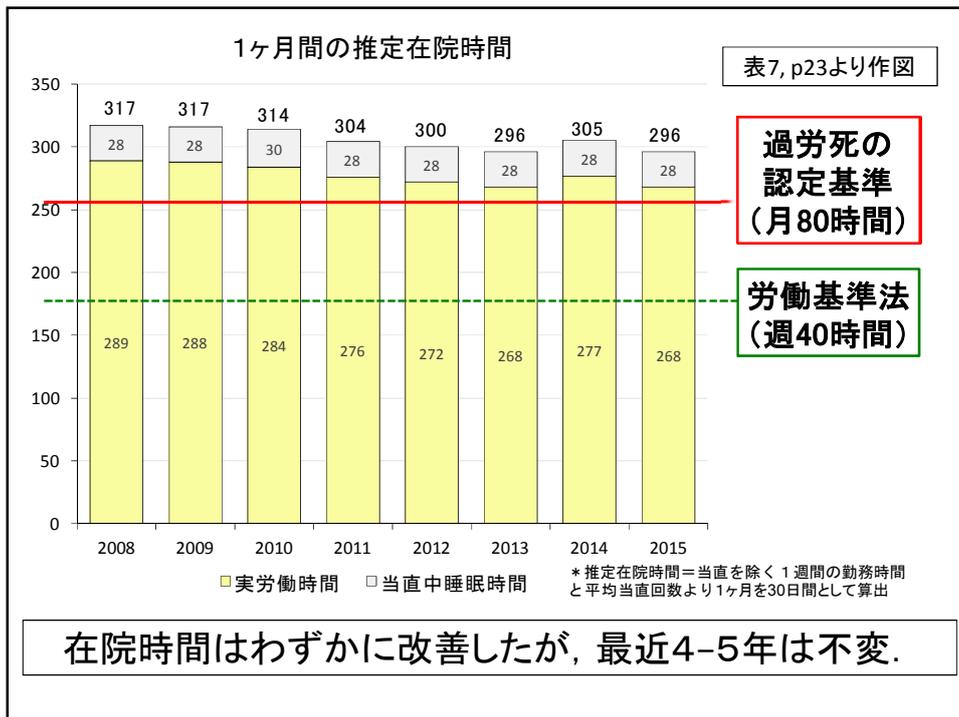
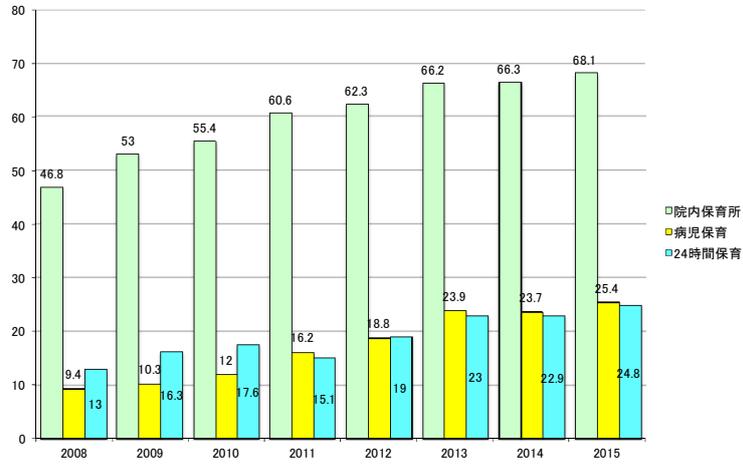


表24 p39より作図

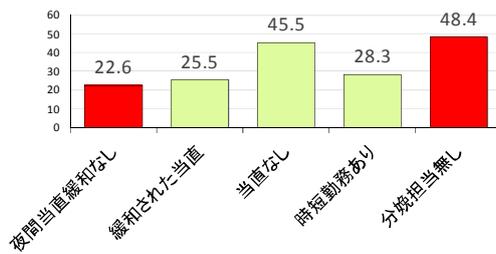
院内保育所の設置状況



院内保育所は7割, 病児・24時間保育は4分の1に設置.

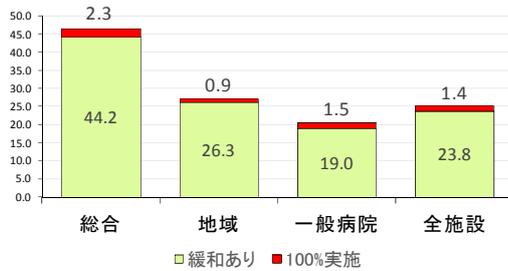
子育て中の勤務緩和実施率(%)

表14, p30
より作図



一部では行き過ぎた緩和が行われている。

当直翌日勤務緩和実施率(%)

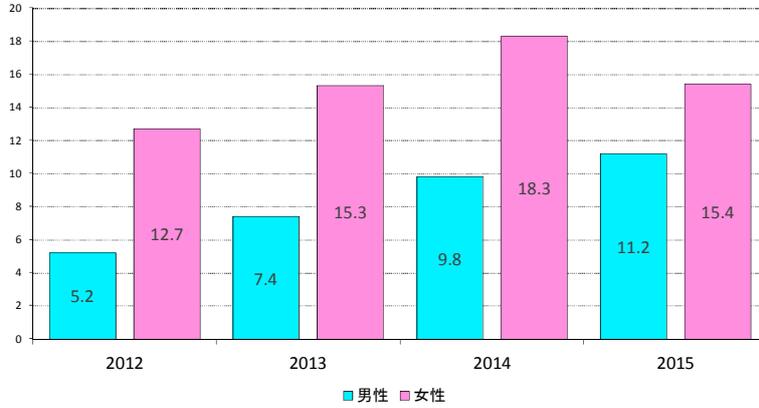


子育てに関わらない医師には、何ら緩和がないに等しい。

表7, p23
より作図

表5, p19

常勤先のない医師の頻度(%)



フリーの医師の活用が今後の課題.

就労環境の地域格差

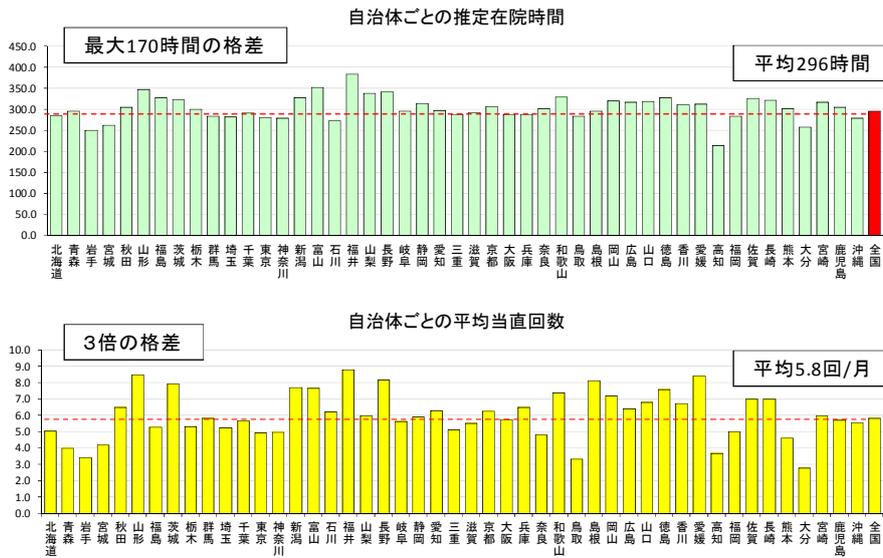
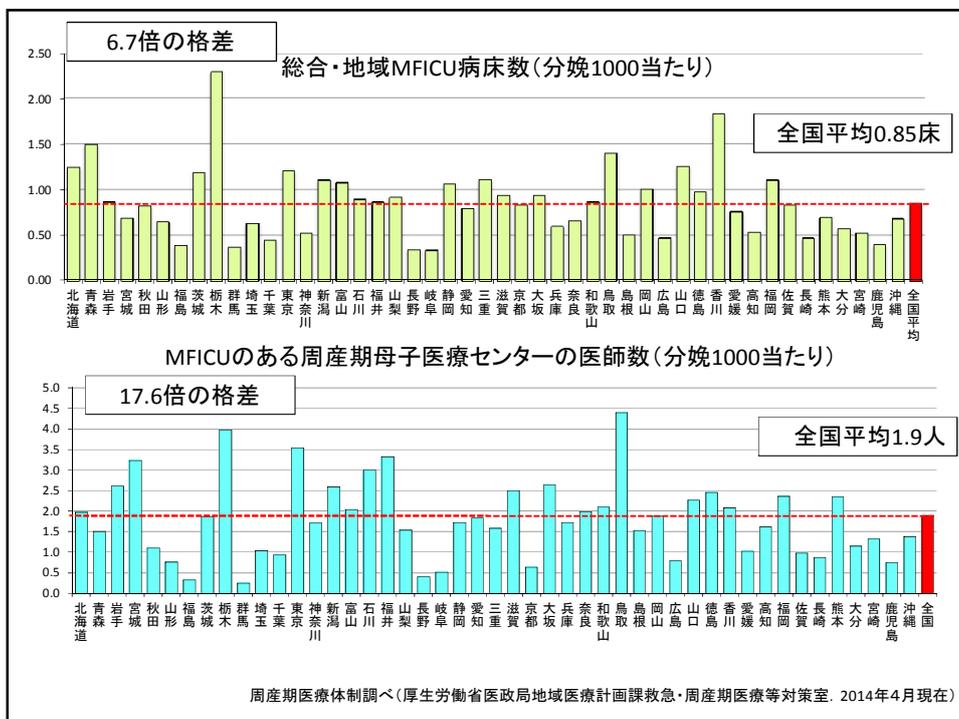
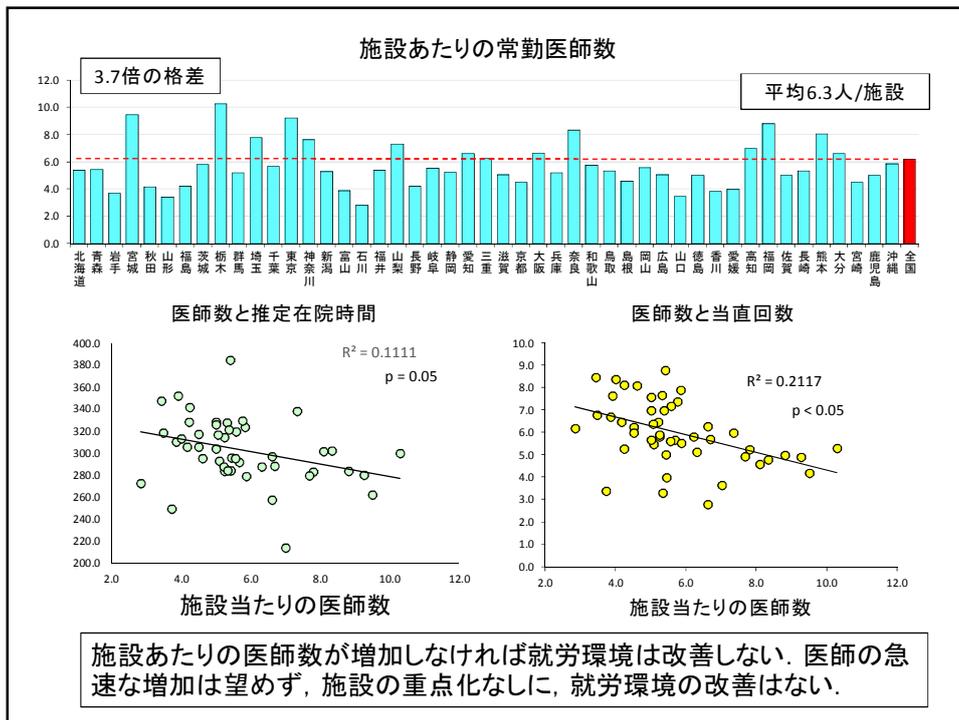
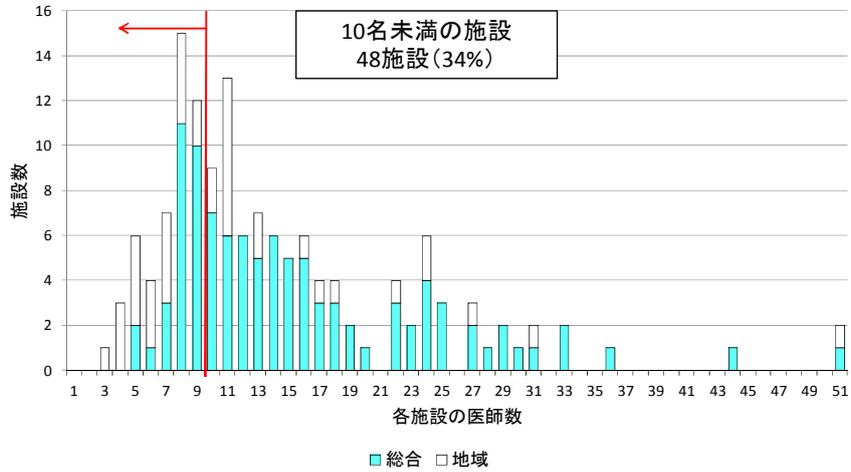


表20, p36 より作図



MFICUのある周産期母子医療センターの医師数と施設数(141施設)



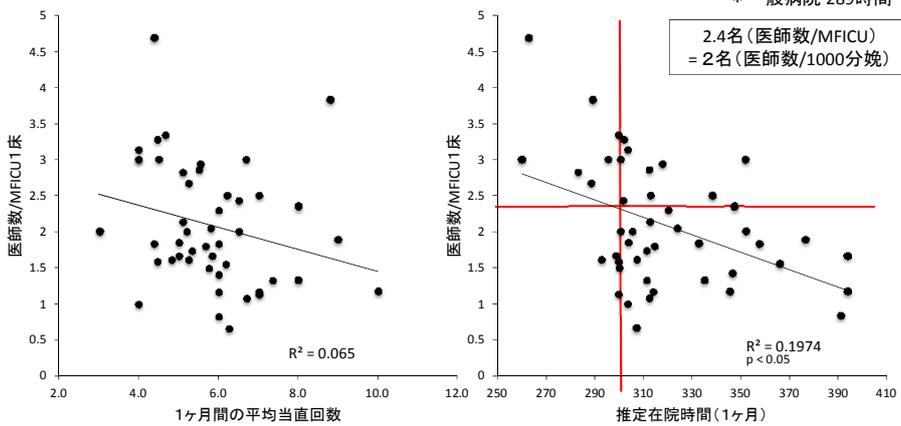
10名未満の施設が3分の1を占める。

周産期医療体制調べ(厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室, 2014年4月現在)

就労状況と自治体間格差

日本産婦人科医学会勤務医部アンケート調査

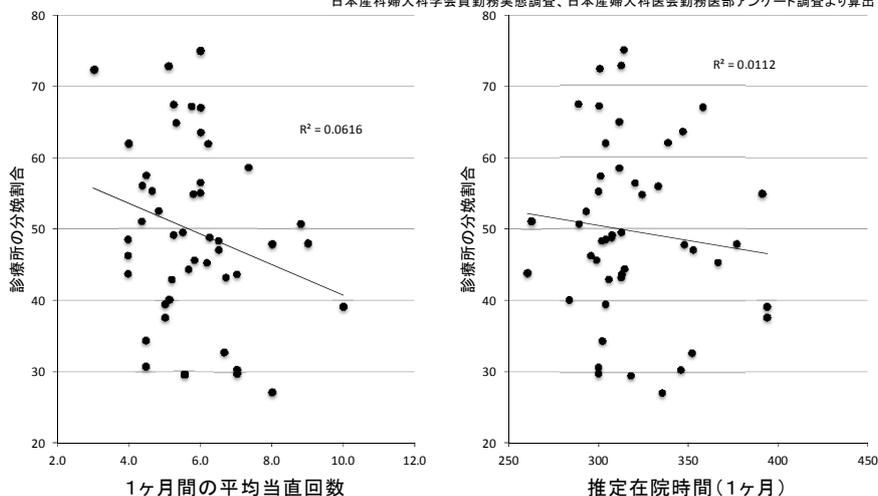
	全国平均	格差	最少自治体	最大自治体
医師の就労状況(MFICU合計)				
推定在院時間(1ヶ月)	315時間	1.5	高知(260)	山形・山梨(394)
				* 一般病院 289時間



医師数の少ない自治体で、当直回数が多い傾向で、MFICU1床あたり2.4名以下で、在院時間が長い(p<0.001)

診療所の分娩率と周産期センターの就労状況（総合、地域）

日本産科婦人科学会会員勤務実態調査、日本産婦人科医会勤務医部アンケート調査より算出



診療所の分娩が多い自治体で労働負担が軽減される傾向

周産期予後と自治体間格差

人口動態総覧(数・率)・人口、都道府県・保健所・市区町村別(平成20年～24年)

	全国平均	格差	最少自治体	最大自治体
周産期死亡率	4.2	1.6	熊本(3.4)	岩手(5.6)
2500g未満の割合	9.6%	1.3	石川(8.5)	沖縄(11.2)

MFICUを有する施設における各指標と周産期死亡率

	total n = 47	周産期死亡率			p値*
		高い自治体 > 4.6 n = 8	平均的自治体 4.6 - 3.8 n = 32	低い自治体 < 3.8 n = 7	
MFICUを有する施設の状況					
MFICU病床数 [†]	0.85±0.4	0.85±0.4	0.91±0.3	0.64±0.2	0.282
医師数 [†]	1.89±0.9	1.84±0.9	1.82±1.0	1.58±0.9	0.192
分娩取扱い率(%) [†]	9.5±4.8	8.4±4.4	9.8±4.7	9.2±6.0	0.751
帝王切開率(%)	37.6±8.8	38.6±12.9	36.7±7.4	40.4±9.6	0.555
搬送取扱い割合(%) [†]	50.3±20.9	47.2±23.7	52.9±19.3	49.0±27.1	0.761
搬送断り率(%)	17.0±15.7	7.6±7.8	18.7±16.1	17.0±16.3	0.189
総合周産期の評価 [‡]	28.6±4.0	29.4±4.5	28.2±4.2	29.0±2.4	0.746
地域周産期の評価 [‡]	20.7±3.2	21.0±3.1	20.8±3.3	19.6±2.7	0.656
自治体内の状況					
診療所の分娩率	49.7±12.3	52.6±14.1	49.2±11.2	48.6±16.1	0.767
全施設の帝王切開率(%)	19.7±2.7	18.6±2.9	19.6±2.4	19.8±1.7	0.567

[†]1000分娩当りの数

人口動態総覧(数・率)・人口、都道府県・保健所・市区町村別(平成20年～24年)

[†]自治体内の全数に対するMFICU施設の取扱い頻度

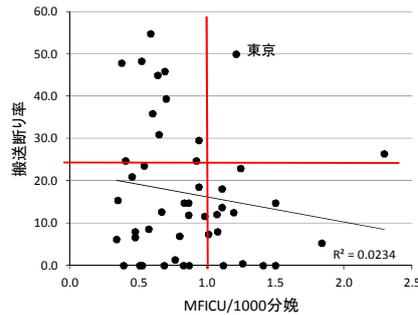
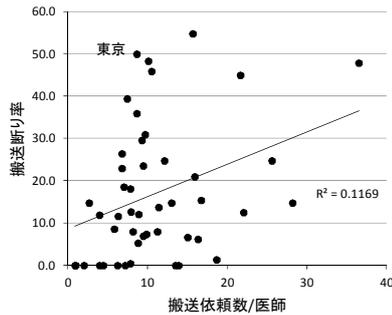
[‡]厚生労働省「周産期医療体制調べ」における評価点

* p値はone-way ANOVA, 多重比較検定はScheffe test

母体搬送の状況

周産期医療体制調べ、総務省消防庁調査(2013年)、日本産科婦人科学会員勤務実態調査より算出

	全国平均	格差	最少自治体	最大自治体
母体搬送				
<u>発生率</u>	<u>4.2%</u>	3.9	高知(1.5)	佐賀(5.9)
MFICUの取扱い割合	34%	20	宮崎(5.0)	石川(100)
MFICU1床の搬送数	16.5件	7.4	青森(4.6)	鹿児島(35.3)
医師1名の搬送数	7.4件	<u>12.0</u>	宮崎(2)	佐賀(24)
<u>MFICUの断り率</u>	<u>17.0%</u>	NA	7自治体(0)	京都(54.9)



医師1名当りの搬送数が多く、MFICUが1000分娩に1床未満の自治体で断り率が高い(p<0.05)

産婦人科勤務医師の就労状況

1. 1施設あたりの常勤医師は過去9年間で40%増加したが、就労状況は改善していない。
2. 妊娠・育児中の医師のみ増加し、一部で過度の勤務緩和が行われている。
3. 妊娠・育児に関わらない医師には、十分な勤務緩和がなく過重労働になっている。

就労状況の地域格差

1. 当直回数や推定在院時間には地域格差がある。
2. 施設あたりの医師数が少ないと過重労働になる。
3. 就労状況の格差は周産期母子医療センター(MFICU施設)で顕著になる。
4. 産科診療所の分娩割合が多い自治体ではMFICU医師の労働負担が軽減される傾向にある。
5. MFICU施設と医師が少ない自治体では、周産期予後は保たれているものの、母体搬送への対応に問題があった。

待遇改善と周産期医療の安定供給に必要な施設と人員配置

1. 搬送受入改善には、1000分娩あたり1床のMFICU配置が必要になる。
2. MFICU医師の労働環境の改善には、1000分娩あたり2名、MFICU1床あたり2.4名の医師を配置することが必要になる。

対策・提案

1. 既存施設の活用 → 医師確保されている既存地域周産期にMFICUを設置
2. 県域を超えた搬送の検討 → 広域搬送システム・県域を越えた周産期医療圏
3. 診療所の活用 → 地域の分娩場所確保・MFICU医師の労働負担軽減

MFICUを有する周産期母子医療センター設置状況と医師数

参考資料1

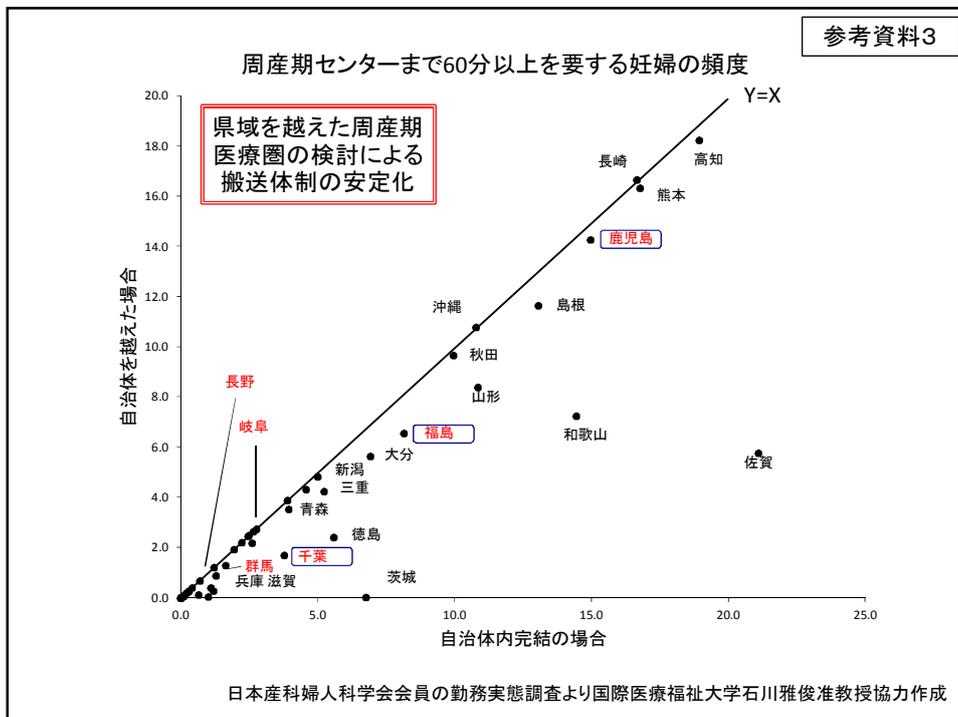
	MF数			産婦人科医師数					MF数			産婦人科医師数			
	施設数	MF数	/千分娩	総数	/施設数	/MF	/千分娩		施設数	MF数	/千分娩	総数	/施設数	/MF	/千分娩
北海道	11	48	1.2	76	6.9	1.6	2.0	滋賀	2	12	0.9	32	16.0	2.7	2.5
青森	2	15	1.5	15	7.5	1.0	1.5	京都	2	12	0.6	13	6.5	1.1	0.6
岩手	1	9	0.9	27	27.0	3.0	2.6	大坂	11	66	0.9	186	16.9	2.8	2.6
宮城	3	13	0.7	61	20.3	4.7	3.2	兵庫	7	27	0.6	77	11.0	2.9	1.7
秋田	1	6	0.8	8	8.0	1.3	1.1	奈良	1	7	0.7	21	21.0	3.0	2.0
山形	1	6	0.6	7	7.0	1.2	0.8	和歌山	1	7	0.9	17	17.0	2.4	2.1
福島	1	6	0.4	5	5.0	0.8	0.3	鳥取	2	8	1.4	25	12.5	3.1	4.4
茨城	5	27	1.2	42	8.4	1.6	1.9	島根	1	3	0.5	9	9.0	3.0	1.5
栃木	2	38	2.3	66	33.0	1.7	4.0	岡山	3	14	1.0	26	8.7	1.9	1.9
群馬	1	6	0.4	4	4.0	0.7	0.2	広島	2	12	0.5	20	10.0	1.7	0.8
埼玉	3	34	0.6	55	18.3	1.6	1.0	山口	3	15	1.3	27	9.0	1.8	2.3
千葉	4	20	0.4	41	10.3	2.1	0.9	徳島	1	6	1.0	15	15.0	2.5	2.5
東京	15	116	1.2	340	22.7	2.9	3.5	香川	2	15	1.8	17	8.5	1.1	2.1
神奈川	5	33	0.5	108	21.6	3.3	1.7	愛媛	1	9	0.8	12	12.0	1.3	1.0
新潟	4	20	1.1	47	11.8	2.4	2.6	高知	1	3	0.5	9	9.0	3.0	1.6
富山	2	9	1.1	17	8.5	1.9	2.0	福岡	7	52	1.1	111	15.9	2.1	2.4
石川	3	15	1.5	30	10.0	2.0	3.0	佐賀	1	6	0.8	7	7.0	1.2	1.0
福井	2	6	0.9	23	11.5	3.8	3.3	長崎	1	6	0.5	11	11.0	1.8	0.9
山梨	1	6	0.9	10	10.0	1.7	1.5	熊本	2	12	0.7	40	20.0	3.3	2.3
長野	1	6	0.3	7	7.0	1.2	0.4	大分	1	6	0.6	12	12.0	2.0	1.1
岐阜	1	6	0.3	9	9.0	1.5	0.5	宮崎	1	6	0.5	15	15.0	2.5	1.3
静岡	5	34	1.1	55	11.0	1.6	1.7	鹿児島	1	6	0.4	11	11.0	1.8	0.7
愛知	8	51	0.8	117	14.6	2.3	1.8	沖縄	2	12	0.7	24	12.0	2.0	1.4
三重	3	17	1.1	24	8.0	1.4	1.6	全国	141	869	0.85	1931	13.7	2.2	1.9

周産期医療体制調べ、日本産科婦人科学会会員勤務実態調査より算出

既存施設の活用						参考資料2					
施設ごとの1000分娩当りの医師数											
	MFICU		地域		総合・地域 一般病院*		MFICU		地域		総合・地域 一般病院*
	医師	以外合計	MF無し	婦人科			医師	以外合計	MF無し	婦人科	
北海道	2.0	5.1	2.6	0.6	1.8	滋賀	2.5	3.7	0.7	0.3	2.7
青森	1.5	5.0	1.4	0.2	3.4	京都	0.6	7.7	4.7	0.9	2.2
岩手	2.6	3.9	3.1	0.5	0.3	大坂	2.6	6.0	1.7	1.3	3.0
宮城	3.2	4.8	2.0	2.0	0.9	兵庫	1.7	4.3	1.0	0.7	2.7
秋田	1.1	8.0	3.7	0.3	4.0	奈良	2.0	3.7	0.9	0.3	2.6
山形	0.8	7.2	3.3	0.4	3.4	和歌山	2.1	3.7	1.7	0.0	2.0
福島	0.3	3.8	1.0	1.0	1.8	鳥取	4.4	3.2	0.0	0.9	2.3
茨城	1.9	2.7	0.6	0.0	2.1	島根	1.5	9.3	0.5	1.7	7.1
栃木	4.0	3.0	1.6	1.3	0.1	岡山	1.9	5.9	2.0	0.7	3.2
群馬	0.2	5.9	3.3	0.6	1.9	広島	0.8	4.3	1.8	0.4	2.2
埼玉	1.0	4.1	0.7	0.4	2.9	山口	2.3	3.9	0.8	0.9	2.3
千葉	0.9	4.8	1.1	0.1	3.6	徳島	2.5	5.6	2.1	1.5	2.0
東京	3.5	10.4	1.1	4.5	4.7	香川	2.1	4.7	0.7	0.1	3.8
神奈川	1.7	6.4	2.3	0.9	3.3	愛媛	1.0	5.0	2.7	0.5	1.8
新潟	2.6	3.7	0.8	0.3	2.6	高知	1.6	4.7	0.0	0.0	4.7
富山	2.0	5.9	1.8	2.0	2.0	福岡	2.4	4.9	0.8	0.5	3.6
石川	3.0	4.6	0.8	0.4	3.4	佐賀	1.0	4.4	0.0	0.0	4.4
福井	3.3	4.6	3.2	0.9	0.6	長崎	0.9	5.1	2.4	0.6	2.1
山梨	1.5	6.3	3.5	2.1	0.6	熊本	2.3	3.3	1.5	0.0	1.9
長野	0.4	6.4	3.0	1.0	2.4	大分	1.1	4.1	1.2	0.0	2.8
岐阜	0.5	4.7	1.4	0.0	3.3	宮崎	1.3	5.0	1.8	2.2	1.1
静岡	1.7	3.8	1.1	1.0	1.7	鹿児島	0.7	5.8	1.8	1.5	2.4
愛知	1.8	4.9	1.2	0.9	2.8	沖縄	1.4	6.0	1.6	1.1	3.3
三重	1.6	3.9	1.6	0.1	2.2	全国	1.9	5.6	1.7	1.1	2.8

下線はMFICU病床数の少ない自治体

*日本産科婦人科学会会員の勤務実態調査(2014年3月末日現在)



産科診療所の活用

参考資料4

診療所の分娩割合と周産期母子医療センターの就労状況(1ヶ月間)

	診療所分娩率	推定在院時間		診療所分娩率	推定在院時間
北海道	30.8	300	滋賀	67.5	289
青森	48.6	304	京都	43.3	312
岩手	46.3	296	大阪	40.2	284
宮城	51.1	262	兵庫	49.5	312
秋田	27.1	335	奈良	57.4	301
山形	39.2	394	和歌山	48.4	302
福島	55.0	391	鳥取	62.0	304
茨城	45.3	366	島根	32.7	352
栃木	65.0	311	岡山	39.5	304
群馬	48.8	307	広島	45.7	299
埼玉	49.2	307	山口	44.4	314
千葉	54.8	324	徳島	43.7	313
東京	29.6	318	香川	29.8	300
神奈川	34.4	302	愛媛	58.5	311
新潟	47.8	347	高知	43.8	260
富山	48.0	376	福岡	72.8	313
石川	47.2	352	佐賀	75.0	314
福井	50.7	289	長崎	67.0	357
山梨	37.7	394	熊本	55.3	300
長野	30.3	345	大分	72.4	301
岐阜	67.2	300	宮崎	62.1	338
静岡	52.5	293	鹿児島	56.0	333
愛知	56.5	320	沖縄	43.0	305
三重	63.6	347	全国	47.8	315

各指標と自治体間格差

参考資料5

	全国平均	格差	最少自治体	最大自治体
施設設置状況				
総合周産期	1/10,182分娩	15.4	埼玉(1/53,416)	福井(1/3,466)
総合・地域周産期	1/2604分娩	7.3	佐賀(1/7,235)	福井(1/990)
MFICU数	0.85床/1000分娩	6.7	岐阜(0.34床)	栃木(2.29床)
医師配置				
総合	1.44人/1000分娩	13.4	群馬(0.25)	鳥取(3.34)
MFICU施設	1.89人/1000分娩	17.6	群馬(0.25)	鳥取(4.40)
診療機能(総合・地域合計)				
取扱い分娩率	自治体内の23.7%	6.9	佐賀(8.3)	山梨(57.1)
帝王切開率	31.2%	2.9	秋田(15.3)	宮崎(45.0)
母体搬送				
発生率	4.2%	3.9	高知(1.5)	佐賀(5.9)
MFICUの取扱い割合	34%	20	宮崎(5.0)	石川(100)
MFICU1床の搬送数	16.5件	7.4	青森(4.6)	鹿児島(35.3)
医師1名の搬送数	7.4件	12.0	宮崎(2)	佐賀(24)
MFICUの断り率	17.0%	NA	7自治体(0)	京都(54.9)
医師の就労状況(総合・地域合計)				
推定在院時間(1ヶ月)	315時間	1.5	高知(260)	山形・山梨(394)
周産期死亡率	4.2	1.6	熊本(3.4)	岩手(5.6)
2500g未満の割合	9.6%	1.3	石川(8.5)	沖縄(11.2)

参考資料6

自治体ごとの出生数と周産期死亡数(率)と低出生体重児の出生数(率)

	周産期		2500g未満の			周産期		2500g未満の			
	出生数	死亡率	出生数	出生率		出生数	死亡率	出生数	出生率		
北海道	199,375	872	4.4	19,097	9.6	滋賀	66,575	311	4.7	6,332	9.5
青森	48,120	208	4.3	4,534	9.4	京都	104,952	414	3.9	10,365	9.9
岩手	48,458	270	5.6	4,448	9.2	大阪	374,661	1,500	4	36,216	9.7
宮城	94,746	361	3.8	8,815	9.3	兵庫	238,046	865	3.6	22,779	9.6
秋田	34,323	171	5	3,386	9.9	奈良	53,398	247	4.6	4,961	9.3
山形	43,297	197	4.5	3,732	8.6	和歌山	37,853	161	4.3	3,588	9.5
福島	78,202	362	4.6	7,251	9.3	鳥取	24,246	103	4.2	2,282	9.4
茨城	118,905	530	4.5	11,263	9.5	島根	28,209	103	3.7	2,962	10.5
栃木	82,603	343	4.2	8,577	10.4	岡山	83,104	308	3.7	7,420	8.9
群馬	79,928	363	4.5	7,536	9.4	広島	127,017	512	4	12,282	9.7
埼玉	294,684	1,255	4.3	27,880	9.5	山口	56,442	228	4	5,594	9.9
千葉	255,038	1,124	4.4	23,441	9.2	徳島	29,353	128	4.4	2,649	9
東京	534,191	2,099	3.9	50,470	9.4	香川	41,835	167	4	3,802	9.1
神奈川	386,790	1,744	4.5	37,297	9.6	愛媛	56,954	233	4.1	5,166	9.1
新潟	89,562	382	4.3	7,997	8.9	高知	27,231	117	4.3	2,922	10.7
富山	41,026	187	4.6	3,700	9	福岡	231,632	983	4.2	23,206	10
石川	48,749	239	4.9	4,126	8.5	佐賀	38,030	139	3.7	3,550	9.3
福井	34,495	141	4.1	2,996	8.7	長崎	59,465	248	4.2	5,509	9.3
山梨	32,928	131	4	3,550	10.8	熊本	81,043	277	3.4	7,745	9.6
長野	86,250	310	3.6	8,374	9.7	大分	49,977	229	4.6	4,580	9.2
岐阜	85,067	377	4.4	8,009	9.4	宮崎	50,689	185	3.6	5,265	10.4
静岡	158,480	636	4	16,150	10.2	鹿児島	75,574	300	4	7,892	10.4
愛知	347,555	1,428	4.1	33,853	9.7	沖縄	84,570	354	4.2	9,450	11.2
三重	76,318	331	4.3	6,858	9	全国	5,319,946	22,173	4.2	509,857	9.6

人口動態総覧(数・率)・人口、都道府県・保健所・市区町村別(平成20年~24年)

参考資料7

自治体ごとの母体搬送発生状況

	周産期		搬送発生 率(全体)	一般搬送の照会状況			周産期		搬送発生 率(全体)	一般搬送の照会状況	
	搬送数	搬送率(%)		30分以上	4回以上(%)		搬送数	搬送率(%)		30分以上	4回以上
北海道	1,633	66.9	4.2	4.8	1.1	滋賀	359	60.2	2.8	2.1	0.0
青森	357	73.4	3.6	1.1	0.0	京都	685	62.6	3.4	2.3	0.0
岩手	449	78.4	4.3	2.1	1.0	大阪	3,218	46.0	4.6	7.1	3.1
宮城	808	76.5	4.3	10.5	5.3	兵庫	1,777	53.5	4.0	5.3	4.0
秋田	244	85.2	3.4	0.0	0.0	奈良	531	64.2	5.0	10.0	5.3
山形	290	68.3	3.1	1.1	0.0	和歌山	273	57.9	3.4	1.7	1.7
福島	516	68.2	3.4	7.3	7.3	鳥取	237	72.6	4.2	0.0	0.0
茨城	933	65.9	4.1	11.6	3.1	島根	141	78.0	2.4	0.0	6.5
栃木	681	69.9	4.1	9.3	3.9	岡山	548	52.7	4.0	2.7	6.2
群馬	548	62.2	3.4	6.3	1.4	広島	788	65.7	3.1	3.0	1.5
埼玉	2,489	56.6	4.7	21.3	7.9	山口	540	80.6	4.5	4.8	4.8
千葉	2,262	55.5	5.1	14.4	4.7	徳島	280	61.4	4.6	0.9	0.9
東京	5,561	59.9	5.8	17.1	10.8	香川	243	65.0	3.0	3.5	2.4
神奈川	2,391	57.2	3.8	10.2	4.7	愛媛	717	79.9	6.1	1.4	1.4
新潟	578	79.6	3.2	8.5	2.5	高知	85	55.3	1.5	2.6	2.6
富山	254	71.3	3.0	0.0	0.0	福岡	2,037	62.7	4.3	1.6	2.6
石川	216	56.5	2.2	1.1	1.1	佐賀	428	71.7	5.9	3.3	2.5
福井	179	63.1	2.6	0.0	0.0	長崎	668	79.9	5.2	3.7	0.7
山梨	147	34.0	2.3	9.3	6.2	熊本	655	65.8	3.8	2.2	0.9
長野	671	71.5	3.9	2.1	0.5	大分	335	77.9	3.2	1.4	1.4
岐阜	675	69.5	3.8	1.0	1.0	宮崎	658	75.7	5.8	2.5	1.9
静岡	1,025	61.9	3.2	4.3	1.8	鹿児島	784	77.3	5.2	4.5	5.1
愛知	2,391	66.8	3.7	2.1	0.6	沖縄	725	66.9	4.1	2.5	0.4
三重	678	64.6	4.5	5.4	4.6	全国	42,688	62.9	4.2	8.4	4.3

救急要請における産科・周産期傷病者搬送実態調査(2013年)(総務省消防庁)

参考資料8

MFICUの母体搬送受け入れ状況

	自治体内					自治体内			
	頻度(%)	搬送数 /MF	搬送数 /医師	断り率 (%)		頻度(%)	搬送数 /MF	搬送数 /医師	断り率 (%)
北海道	33	11.3	7.1	23.0	滋賀	51	15.3	5.8	18.6
青森	20	4.8	4.8	0.0	京都	13	7.7	7.1	54.9
岩手	24	12.0	4.0	0.0	大坂	38	18.4	6.5	29.6
宮城	43	26.7	5.7	45.9	兵庫	30	19.5	6.8	35.9
秋田	45	18.5	13.9	0.0	奈良	27	20.7	6.9	12.7
山形	16	7.8	6.7	30.9	和歌山	22	8.4	3.5	11.9
福島	6	5.2	6.2	0.0	鳥取	40	11.9	5.0	0.0
茨城	87	30.0	19.3	12.5	島根	46	21.7	7.2	0.0
栃木	49	8.7	5.0	26.4	岡山	43	17.0	9.2	7.4
群馬	14	12.7	19.0	47.9	広島	26	17.3	10.4	8.0
埼玉	26	19.3	11.9	45.1	山口	39	14.1	7.8	0.5
千葉	23	25.8	12.6	21.0	徳島	30	14.0	5.6	11.6
東京	27	12.7	4.3	49.9	香川	58	9.5	8.4	5.3
神奈川	24	17.2	5.2	48.3	愛媛	31	24.6	18.4	1.3
新潟	52	15.1	6.4	18.2	高知	76	21.7	7.2	23.5
富山	50	14.2	7.5	7.9	福岡	54	21.0	9.8	13.7
石川	154*	22.2	11.1	14.8	佐賀	39	28.0	24.0	14.7
福井	29	8.7	2.3	14.8	長崎	23	25.7	14.0	6.7
山梨	62	15.2	9.1	24.8	熊本	28	15.1	4.5	39.5
長野	15	16.5	14.1	15.4	大分	19	10.7	5.3	8.6
岐阜	20	23.0	15.3	6.1	宮崎	5	5.0	2.0	0.0
静岡	51	15.5	9.6	12.1	鹿児島	27	35.3	19.3	24.8
愛知	43	20.1	8.8	6.9	沖縄	45	27.0	13.5	0.0
三重	23	9.1	6.5	0.0	全国	34	16.5	7.4	17.0

*確認中

周産期医療体制調べ(厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室、2014年4月現在)

参考資料9

周産期母子医療センターへの受診アクセス時間(60分以上の頻度)

	自治体内			自治体内	
	完結	自治体を 越えた場合		完結	自治体を 越えた場合
北海道	3.9	3.9	滋賀	1.0	0.0
青森	3.9	3.5	京都	0.0	0.0
岩手	1.9	1.9	大坂	0.0	0.0
宮城	0.1	0.1	兵庫	1.2	0.3
秋田	10.0	9.7	奈良	0.3	0.3
山形	10.8	8.4	和歌山	14.4	7.2
福島	8.2	6.6	鳥取	2.8	2.7
茨城	6.8	0.0	島根	13.1	11.6
栃木	0.1	0.1	岡山	1.6	1.3
群馬	1.3	0.9	広島	0.4	0.4
埼玉	0.0	0.0	山口	2.6	2.2
千葉	3.8	1.7	徳島	5.6	2.4
東京	0.2	0.2	香川	2.5	2.5
神奈川	0.0	0.0	愛媛	2.5	2.5
新潟	5.0	4.8	高知	18.9	18.2
富山	0.0	0.0	福岡	1.1	0.4
石川	4.6	4.3	佐賀	21.1	5.8
福井	0.0	0.0	長崎	16.6	16.6
山梨	0.7	0.1	熊本	16.8	16.3
長野	0.7	0.7	大分	6.9	5.6
岐阜	2.6	2.6	宮崎	2.2	2.2
静岡	1.2	1.2	鹿児島	15.0	14.3
愛知	0.3	0.2	沖縄	10.8	10.8
三重	5.2	4.2	全国	2.7	2.1

日本産科婦人科学会会員の勤務実態調査より国際医療福祉大学石川雅俊准教授協力作成